

2020下期 イノベーターズ・マインド プログラム (ver.20201104)



ビジョンペーパーより：創り出すべき価値

世界と共存するために

【提言2】
新しいビジネスモデルへ変革せよ

デジタル・
トランスフォーメーション
(組織の変容)

【提言1】
経営トップの責任を大きく変えよ

ソーシャル・イノベーション
(事業の変容)



三方同時
が必須

本プログラムの
目的

【提言3】
個人を尊重し自立を促す環境を整備せよ

マインドセット
(人財の変容)



求められるマインドセット

【向き合うべき現実】

無意識の
囚われ・しがらみ



「イノベーションが起きない」

【いま、必要なこと】

既成概念からの
UNLOCK!!



「なぜ、イノベーションが起きないのか？」

&

気づく力
(認知能力)



「私（たち）はどうあるべきなのか？」

求められる探索×深化

気づく力

個 場 集団 (チーム) 組織 社会 自然環境 未知の領域

知の探索 (視野の拡大)

知の深化 (視座の発達)

反応
状態
文脈
背景
土壌
摂理
源泉

オーケストレーションの実践

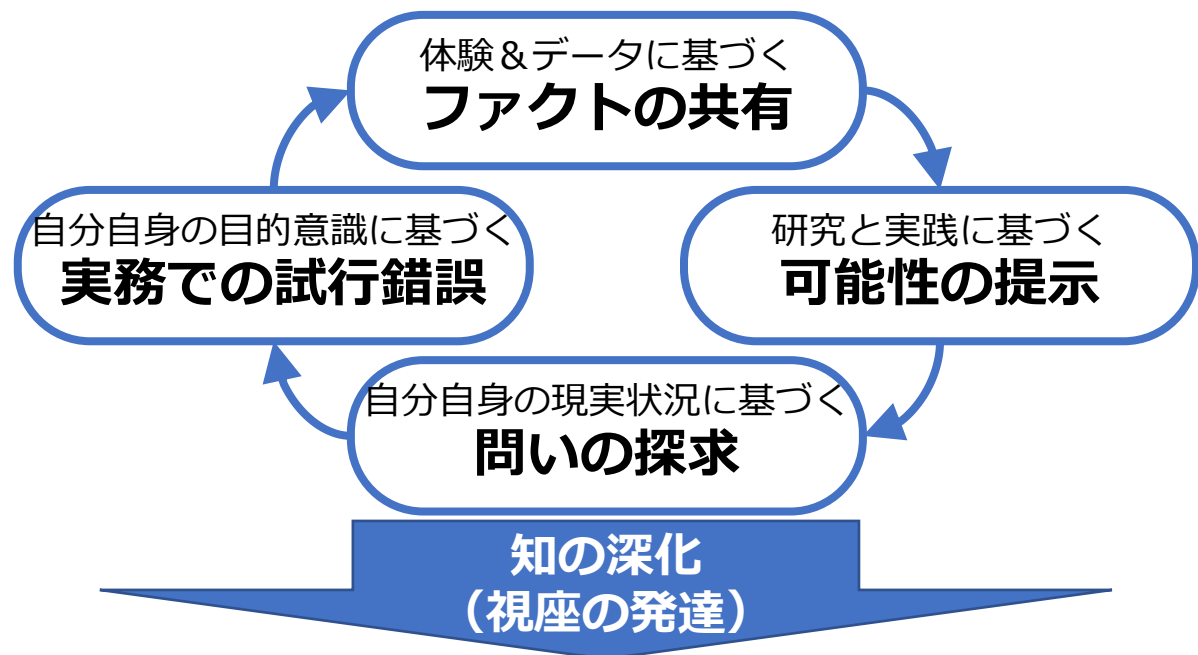
(オーケストラのような組織・領域を超えた協調・創発)



基本的なアプローチ（2020上期より実施）

知の深化 = 問いの探求

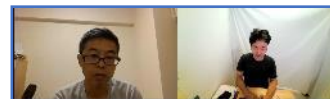
知の探索 = 機会の多様化



イーラーニング
※2020年7～10月
延べ参加者500名Over



オンライン・
ワークショップ
※2020年4～10月
延べ参加者250名Over



個別対話
※2020年4～10月
延べ30回Over



知の探索
(視野の拡大)

「自分自身を探求する“問い”」

あなた自身にとってイノベーションとは何か？
イノベーションが可能ならあなた自身のどんな未来を築きたいか？
その未来のためにあなた自身が真に向き合うべき現実は何か？
あなた自身は何者としてイノベーションに向き合うか？
あなた自身が今ここから本当にやるべきことは何か？
⋮



起き得る変化とさらなるUNLOCKの必要性

(2020上期実施結果を踏まえ)

不参加・離脱理由

「知らない」
(中身が分からない)

「きっかけがない」

「必要性がない」

「時間がない」

「わからない」

「できない」

「続かない」

さらなるUNLOCK要素



【参加動機】

(「問い」への参加者回答より要約)

【担当(業務指示)】

- ・ イノベーション(新規事業開発)担当だから
- ・ DX(またはIT関連)の担当だから
- ・ 人財育成の担当だから

【実務目的】

- ・ 顧客への価値提供のため
- ・ 新商品開発に活かすため
- ・ プロジェクトを推進するため

【自己研鑽】

- ・ 社会課題解決に貢献するため
- ・ 一人の人間として成長するため

参加者に起きた意識変化

(「問い」への参加者回答より要約)

「イノベーションは、
自分の人生を生きること」

「社会を変えるために、
まず自分自身が変わる」

「当事者としての意図をもって
学び続け、関わり続ける」

「自分自身で実践し、
一人でも多くの仲間を増やす」

「恐れずに、イキイキと
恥じることなく実践していく」

成長するための気づく力



成果に必要なのは20%のマインドセット

(2020上期実施結果を踏まえ)

ゼロでないことを大事にできるかがカギ

ムーブメントにできるか？

動かない多数派

20%



何もしないで
見ている人

距離を置いて
そもそも
関わろうとしない

30%



どうしたらいいか
考えている人

業務命令で
必須であれば
参加

30%



言われたら
準備する人

就業時間内で
誘われれば
参加

理解される優等生

15%



声をかけられて
ついていく人

声掛けしてもらえれば
組織外も含め学びの場へ
自分の時間を使って参加

良くも悪くも
"特殊"扱い

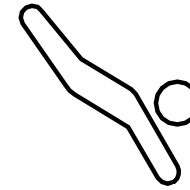
5%



自分で気づいて
先行する人

主体的に
組織外も含め学びの場へ
自分の時間を使って参加

1%以下



さっさと
飛び込む人

最重要
ターゲット

新しい未来へ
For Future!

**誰もがイノベーターになる
可能性を持っている。**

**しかし全員がイノベーターに
なることはできない。**

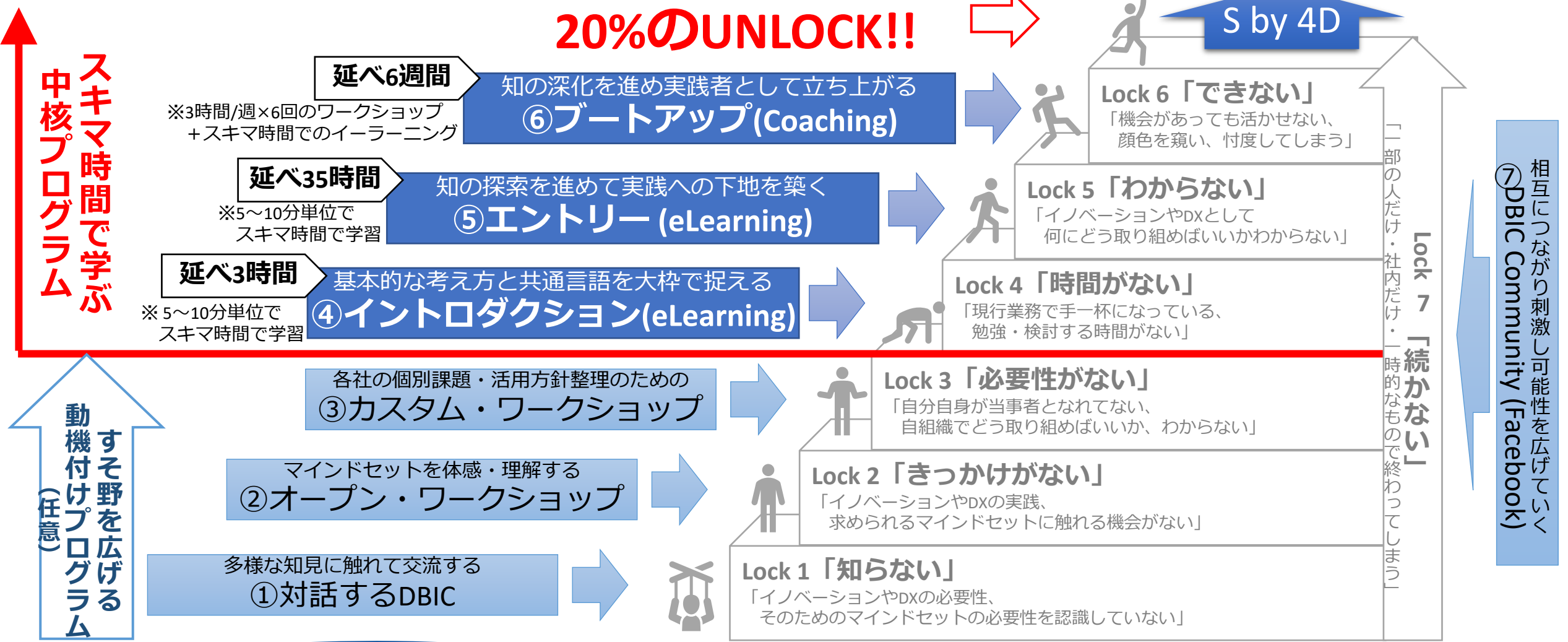
**20%がイノベーションに挑めば
成果は創出し得る。**

7つのUNLOCK (2020下期マインドセット・プログラム)

※各プログラムの説明は
後述参考資料にて。

Social Innovation!!

未来の可能性を変える
20%のUNLOCK!!



スキマ時間で学ぶ
中核プログラム

すそ野を広げる
動機付けプログラム
(任意)

参考) プログラム紹介 ①対話するDBIC

「分からない」ことを「分からない」と言える場

安全な対話の場を通じて、まず分からないことに気づき、
分からない状態を作り上げた真因を探求していくオンライン・ダイアログ。
(Facebookグループ DBIC Communityにて随時案内)

実践活動へ



新たな気づき



相互学習へ



参考) プログラム紹介 ②オープン・ワークショップ

組織・立場を超えた問題意識の共有機会

人数を限定したDBIC@恵比寿でマインドセットの体感し、参加者相互の対話を通じて具体的な問題に向き合うためのワークショップ。
(事務局より随時開催案内)



“なぜ自組織にイノベーションが必要か”を探求する

イノベーションに取り組むための自組織の課題整理やビジョン共有など個別の要望に応じて内容をカスタムし、開催するワークショップ。
(開催にあたっては事務局までご相談ください)



新しい それぞれ チャレンジ ぶつかる つながる 多い
良い 抱く 突破 超える 会社 つながり 事業 相乗効果 嬉しい 挑戦
できる 方向性 コミュニティ 個人 アイデア 社外
生み出す 社員 イノベーション 成長 グループ
探る 仲間 企業
取り組み 個々 生まれやすい だす
向く いく 決める 生まれる 決めやすい 組織 協力 続ける
ふい 存在価値 エキスパート 外部 あたらしい 人さし 強い
楽しい チーム 進む 幅広い 越える ゆるい 発展 与える 生まる
づよい



イノベーションはどうあるべきなのか？

イノベーションが必要となっている社会背景と、その実践アプローチを捉え
共通言語を創っていくための“礎”としていくイーラーニング・プログラム。
(会員企業の方であればどなたでも随時利用可能、利用方法は後述)



いま求められる社会変容

~イノベーションのための実践アプローチ概要~

(約3時間)

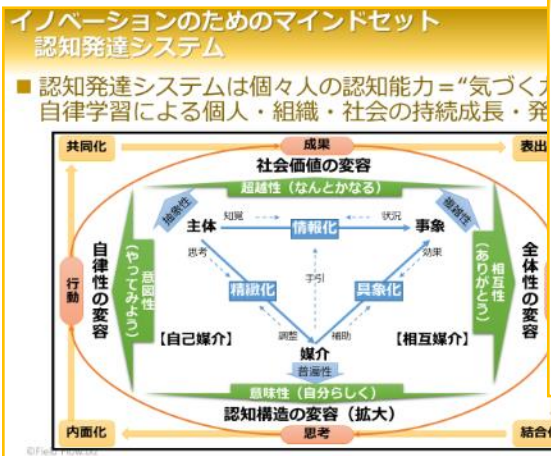
はじめに
社会背景
現実課題
アプローチ
実践モデル
必要スキル

サポート・プログラム

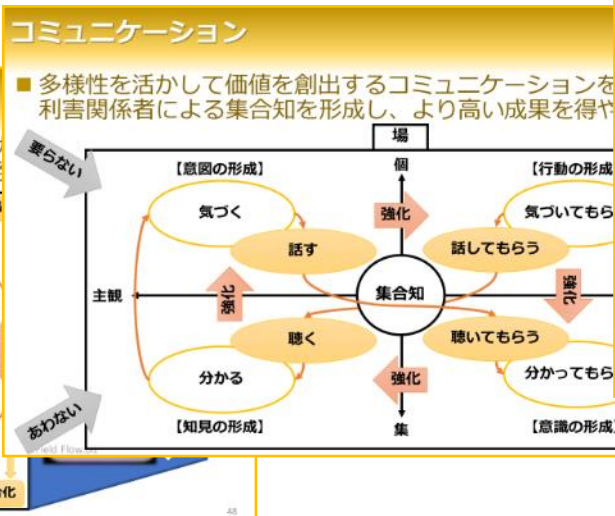
イノベーションに必要な知を探索して下地を築く

イノベーションの実践に必要な知をインプットし、
 それぞれの実践ケースを踏まえてアウトプットして自分の知として吸収する。
 (イントロダクション終了後に随時利用可能、利用方法は後述)

気づく力 (認知能力)



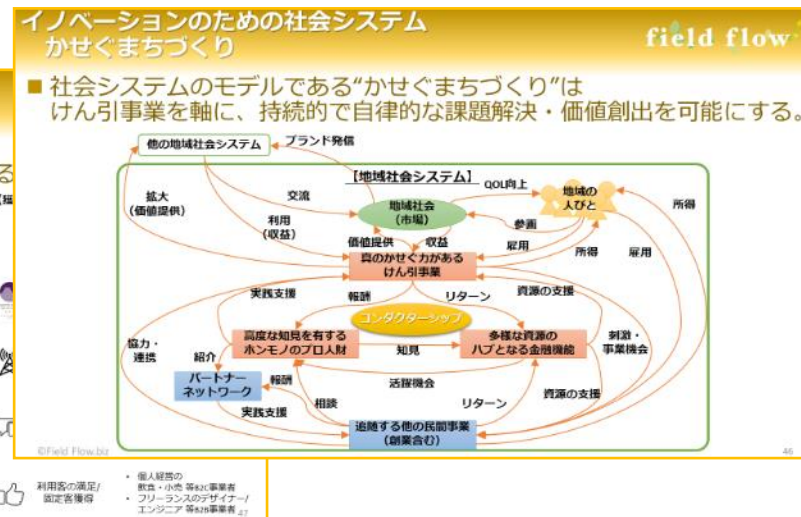
コミュニケーション



組織モデル



社会システム



インプット（講義形式イーラーニング） &
 アウトプット（バーチャル・ワークショップ）
 ※延べ35時間、受講期限・人数制限なし

イノベーションの実践者として立ち上がる

イノベーションの実践者として知の深化を加速させ
成果に向けて歩み続けるためのコーチング・プログラム。
(エントリープログラム修了者が参加可能、開催案内は事務局より)

【探求すべき問い】

それは本当に世界に必要か？

そこに無条件の信頼はあるか？

そこに自分の存在理由はあるか？

そこに全身全霊で向き合えているか？

そこに人生の喜びはあるか？

明日死ぬとしても心から笑えるか？



参考) プログラム紹介 ⑦DBIC Community

相互につながり刺激しあうための安全な交流の場

イノベーションに取り組む地域・組織・分野を超えた
多様な人財がつながり、ともに成長していくためのオンライン・コミュニティ。
(Facebookグループに会員企業の方であればどなたでも随時参加可能)

<https://www.facebook.com/groups/dbiccommunity/>



参考) イントロダクション/エントリー イーラーニング申込方法

① UMUへのユーザ登録をお願いします。

<https://www.umu.co/>

② 以下URLからお申込みください。
※個別のコースの申込も可能です。

<https://airtable.com/shrlF4F7m0DUI3665>
(パスワード inv2020)

③ イーラーニングへの
接続用URLをご案内します。

field flow DBIC

マインドセットプログラム イーラーニング申込フォーム

イーラーニング・プログラムの申込フォームです。
以下より申込をお願いします。

なお、申込にあたりUMUのユーザ登録が必要です。
まだ登録されていない方は、まずUMUのサイトよりユーザ登録ください。
<https://www.umu.co/>

申込イーラーニング *

利用したいコースを一つ選択ください。
複数お申込みいただければ幸いです。

- 001_いま求められる社会変容 ~イノベーションのための実践アプローチ概要~
- 002_かぜくまちづくり ~イノベーションのための社会システム~
- 003_事業成長マップ ~イノベーションのための組織モデル~
- 004_意図つむぎ ~イノベーションのためのコミュニケーション~
- 005_認知発達システム ~イノベーションのための*気づく*力(認知能力)~

Let's Dive Together!!

DBIC



DBIC

©2020, Digital Business Innovation Center , All Rights Reserved